



平岡公園小だより

第 555 号

令和 8 年（2026 年）

8 月 31 日発行

TEL : 011-885-9414 FAX : 011-885-9042

学校ホームページ <https://www.hiraokakoen-e.sapporo-c.ed.jp/>

学校メールアドレス hiraokakoen-e@sapporo-c.ed.jp

(メールは、転送電話切り替え時の緊急用にお使いください)

学校 HP はこちら



教えて 伝えて 考えて

教頭 遠藤 嘉史

夏休みに入ってからすぐの 7 月 28 日(火)、熊本県で大きな地震がありました。

平岡公園小学校では、夏休み前の 7 月 17 日(金)に地震を想定した避難訓練があり、北と南の離れた地域とは言え、同じ日本の中で、しかも、これだけ近い期間に大きな地震が発生したことに驚きを感じました。今回の地震において被災された方々に哀悼の意を表し、そして復興・復旧のために尽力されている全ての皆様に敬意を表します。

自然災害はいつ起きるか分かりません。そのために私たちは訓練をしたり、物資を準備したりして、対策を講じています。学校でも避難訓練を通じて、子どもたちに災害の恐ろしさや、災害に対する心構えを指導し、恐れるだけでなく、備えが大切なことや、どう対峙していくことがよいのかを伝えています。

さて、今回の熊本での地震の際、それに付随して起きてしまった事故として、大型ショッピングセンターでのガス爆発がありました。怪我をされた方、そして亡くなった方がおり、本当に痛ましい事故となってしまいました。

この事故の詳しい原因については、現在も調査中とのことですが、災害に対する考え方やその時の行動について、私にとって深く考えさせられることがありました。

まず最初に考えたことは、あれほどの大きな地震が起きた場合は、建物が崩壊する場合があるので、できるだけ早く建物の外に出る必要があるということです。今回の場合でも、この大型ショッピングセンターでは、店員の指示で店内にいる多くの客が建物の外に出て、避難したために難を逃れることができました。この避難の仕方は、大きな地震が起きた場合の避難の仕方として、多くの場所で訓練している形であり、これまでの経験から伝わってきたことをもとに、学校でも指導している形となっています。

そして次に考えたことは、地震発生時、店内にいた全ての人が建物の外に一度避難したのですが、その後、建物の中に戻ってしまった人がいたということです。建物の中に戻ってしまった理由としては、様々なことが報道等で伝えられていますので、それについて何か言うことはできませんが、その人がそこで「戻ろう」「戻らないと」と考えた瞬間があったのだと思います。

地震が起きてから、ガス爆発が起きるまで、ある程度の時間があつたことも聞いています。そうすると、地震が治まったから、置いてきた自分の持ち物を取りに戻ろうと考える人がいることもあります。帰るために、車のカギが無かった、携帯電話が無かった、お財布が無かったなど、どうしても取りに行きたい気持ちが出てくることもあると考えられます。

震災や災害に遭った場合、自分はその時どう考えて行動するのかは、教育や指導の先にあり、最後は自分の判断に委ねられることになります。これまでもそうでしたが、「自分で考えて行動する力」を育てることは教育にとってとても大切なことです。学校では『何のために』を考える場の創出や「自己決定の場の創出」を求めながら教育活動を進めていきます。2 学期も本校の教育活動について御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

9月の行事予定

日	曜	
1	火	後期教科書配付 4年生アイヌ文化出前体験プログラム 3・5年生ふれあい中休み参観 3・4年生6時間授業開始
2	水	6年生いじめ予防授業(5校時)
3	木	2・4年生ふれあい中休み参観 5年1・4組現地学習①(アグリフロント) スクールカウンセラー来校
4	金	1年生心臓検診
5	土	
6	日	
7	月	3年生現地学習(西山製麺、さとらんど) クラブ⑤
8	火	5年2・3組、きらめき学級現地学習②(アグリフロント)
9	水	
10	木	PTA 朝の読み聞かせ
11	金	
12	土	体育館使用停止(緑ヶ丘保育園運動会)
13	日	
14	月	クラブ⑥
15	火	
16	水	
17	木	2年生現地学習(円山動物園) PTA 給食試食会(多目的室) スクールカウンセラー来校
18	金	席書大会(14:30~15:15、席書大会参加児童は15:30下校)
19	土	
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	国民の休日
23	水	秋分の日
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	児童委員会⑩前期反省
29	火	表現交流会(全校児童が、グラウンドで運動会の表現のがんばりを認め合う時間です。)
30	水	

子どもの命の大切さを見つめ直す月間

夏季休業が終了する8月後半から9月にかけては、学校生活に悩みを抱える児童が不安定になる傾向があるといわれています。そのため、札幌市教育委員会では、8月17日(月)から9月30日(水)までを「子どもの命の大切さを見つめ直す月間」と設定しています。

これらを踏まえ、本校では、道德の授業などを通して、子どもたちと「命」についてもう一度見つめ直す機会を設けます。学校生活や運動会、ふれあい活動などの取組の中では、相互承認の感度を高め、「自分が大切にされている」と感じられるようにしていきます。また今年は、北海道教育庁学校教育局主催の『絆づくりメッセージコンクール』の作品募集に取り組みます。いじめやネットトラブルの根絶を目指し、よりよい人間関係づくりを呼び掛ける活動を通して、思いやりをもって人と接する社会の実現に向けた意識を高めていきたいと考えています。

さらに、日ごろから行っている心の健康観察アプリ「シャボテン」を活用し、子どもたちの様子をよく観察することで不安や悩みに気づき、適切に関われるようにしていきます。御家庭でも、お子さんの様子で、心配なことがありましたら、学校まで御相談いただけたらと思います。

秋の全国交通安全運動について

日の入りの時間が急激に早まる秋口以降は、夕暮れ時から夜間にかけて重大交通事故が多発しているほか、歩行中の死亡事故の多くが道路横断中に発生しており、児童の下校時の安全の確保を一層図る必要があります。こうした背景を踏まえ、9月21日(月)から9月30日(水)まで、「全国交通安全運動」が行われます。今年の全国重点が以下の3つとなっていますので、大切な命を守るために、御家族で交通安全について、もう一度、考える時間をもってくださいと思います。

〈歩行者〉歩行者の安全確保と反射材用品の着用促進

〈自動車〉夕暮れ時の早めのライト点灯と飲酒運転や「ながらスマホ」の根絶

〈自転車〉自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールを理解・遵守の徹底

9月1日(火) 後期教科書の配付について

後期は、冊数が少ないので、カバンに入ると思いますが、心配があれば袋などを持たせてください。配付後は、必ず記名をして、学年からお知らせがあるまで、家庭で保管をお願いします。

1年…国語(下) 生活(下) 図画工作(下)

2年…国語(下) 算数(下)

3年…国語(下) 算数(下) 図画工作(下)

4年…国語(下) 算数(下)

5年…図画工作(下)

※6年の教科書配付はありません

10月3日(土) 令和8年度平岡公園小学校運動会について

運動会まであと1か月となりました。各学年とも本番に向けての取組が少しずつ始まってきています。気温の変化が大きくなっていきますので、体温調節のしやすい格好で登校するようお願いいたします。また、その際、上着に必ず記名をするようお願いいたします。

運動会当日の日程などの詳細につきましては、後日配付の学校便り運動会特別号を御覧ください。